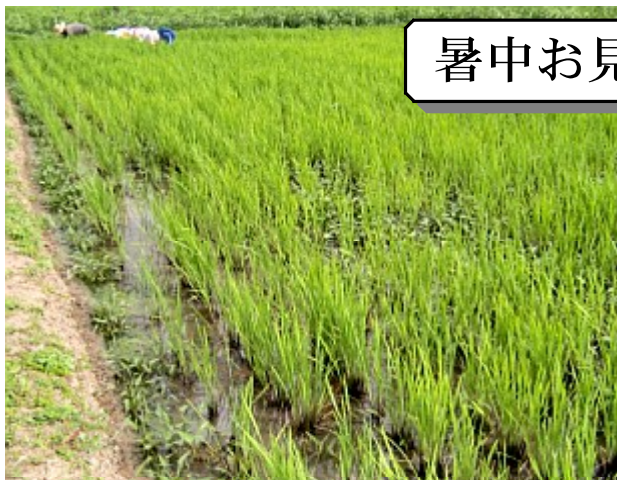


提携米通信

2010年8月号・黒瀬農舎発



暑中お見舞い申し上げます。

種蒔きから田植えが終わるまで、低温悪天候が続いた今年の天候は、先月号でご報告したように、6月に入って好転しました。

7月は、引き続き好天の日が多く、気温は例年以上に高い日もあり、早々と猛暑日の記録も更新しました。

また、全国各地に局地豪雨による被害が報道されていますが、皆さま

の所では被害はございませんでしたか、お見舞い申し上げます。

秋田も7月20日前後には、あちこち局地的に被害が出ていますが、当地は幸い大丈夫でした。

ところで、稲の生育は、例年と比べての遅れを6月末から徐々に取り戻し、7月下旬の現在、ほぼ平年に近いまでに回復してくれました。

今年は、春先からずっと「冷夏・冷害」を心配していましたが、いまの予報で「8月、9月共に猛暑」と報じられていますので、乗り越えてくれたようです。

でも、自然に左右される仕事をしている私たちは困った習性を持っており、今度は「台風」を心配しているところです。

上の写真は7月20日の草取り風景ですが、ご覧のように畦周りの稲は、イネミズゾウムシの被害を受けて株絶えしている部分も多いです。

6月始めに、畦のバーナー焼却や、畦マルチなどの対策に汗を流しましたが、農薬を一切使用しない我が農舎の場合には被害を完全に防ぐことは出来ませんでした。

でも、対策が徒労に終わった訳ではありません。無対策なら30～60%を超える被害も出る厄介な外来害虫です。この程度の被害だと5%以内の減収に収まると安堵しているところです。 これからの酷暑どうぞお身体に気を付けてお過ごし下さい。

提携米 黒瀬農舎

〒010-0445

秋田県南秋田郡大潟村西1丁目4の7

黒瀬 正・喜多

TEL 0185-45-3066 FAX 0185-45-2887



☆夏場は、虫・カビや味落ちも進みます。お米が余った方は、遠慮なく減量やパスのお電話をお願いします。

E-mail : akita@kurose.com <http://www.kurose.com>

民主党敗北と所得補償農政

今度の参議院選挙は秋田でも民主党大敗。この通信では「所得補償農政」の発足が、秋田県での参議院選挙や、稲作現場に及ぼした状況を取上げてみます。

前回の参議院選と衆議院選では、それまでの自民党農政への不満と、「所得補償」を掲げた民主農政に多大な期待が集ったことの2つによって、民主党は保守系農民の支持まで集めて圧勝。民主党の農村部での集票作戦は、2度ともに大成功でした。

ところが3度目の今回は、農民票の多くが自民党に帰り、民主党は大敗しました。

そこで、所得補償制度に参加した農民が、今回の参議院選で投票先を決めるにあたって、この制度をどう評価していたのか、代表例を3つ紹介します。

1、所得補償で金をくれることは歓迎だが、1兆8千億の米の生産額に比べて、所得補償の予算は6千億円。国の赤字が大変な時に、こんな政策が続くわけがない。

2、定額所得補償に加えて、米が余って米価が下がれば、値下がり分にも金が来るといいう市場原理を完全否定した食管並の制度が出来たのだから、農薬・化学肥料をどんどん与える多収穫栽培に切り替えるのが得策。制度に参加した農家は、みんなこの経営方式に向かう。その結果、米余りは延々と続き、財政負担は年々増大し、制度の崩壊は確実。制度の将来性も、農業の将来性も共がない。今の間に稼がせて貰おう。

3、所得補償制度は、巨額な財政支出だと言っても、1畝程度の平均規模農家への補償額は、子供手当程度に過ぎず、経営改善にはほど遠い小額。民主党がこの政策を打ち出した当初には大きな期待をしたが、それは幻想に過ぎなかったことが判った。

このように、「貰える金は貰わねば損！」と制度に参加したが、所得補償制度の合理性や将来性のなさに気づいたために票を入れない農民が続出して、補償金のバラ撒きで票を集めようとした民主党の3度目の目論見は、見事に失敗したと言う訳です。

一方で、この所得補償制度という金をバラ撒く過保護政策は、農民を食管時代の感覚に逆戻りさせ、今後、日本農業の崩壊を早めさせていく元凶になると思われます。

食糧不足のため戦時中に出来た食管制度は、その後、過保護政策として集票の道具にされ、農民の自立心や社会性を奪い、結果、日本農業衰退の原因を作りました。

この食管が平成6年にやっと廃止され、農民もようやく目覚め、お米も美味しくなってきました。

しかし、この度の所得補償制度は、市場原理を否定した食管の再来です。改善されつつあった農民の感覚も食管時代に逆戻りです。

「農薬・化学肥料多投／多収穫稲作」という、食管時代のモラルなき米作りの横行も始まりました。

こんな日本農業・国産農産物によって、たとえ自給率が一時上っても国民にとって何の利益も生みません。農政を集票に使うことはもう止めて欲しいです。



我が農舎では、今年は5回除草機を掛けました。草取りのパートさんも連日頑張ってくれました。でも写真のように草は一杯ですが、いまま盆明けからまた再開し頑張ります。